



豊心齋

創立 133 周年大同窓会 『恩覺知新』 ～心にいつも三綱領～
 大同窓会学年スナップ／各地区同窓会／黄線今昔／学覺トピック／
 平成 27 年度役員・幹事・委員会活動報告／多士会館だよりほか

濟々覺 **同窓会会報** 2015年/平成27年/第31号

編集・発行 濟々覺同窓会
 〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目21番50号 (財)多士会館内
 TEL 096-345-3002 FAX 096-346-3225

各種お問い合わせメールはこちらへ
tashi@seiseiko-dosokai.gr.jp

各地区同窓会へのご登録はこちらへ

各地区在住で地区同窓会案内をご希望の方は、このアドレスに氏名・卒年・住所や希望地区をご連絡下さい。該当する各地区に登録致します。

seiseikodosokai@gmail.com
セイセイコドソカイ

ホームページがリニューアル!
<http://seiseiko-dosokai.gr.jp>


 facebook


 濟々覺同窓会【公式】

1000人を超える同窓生が集結！ 濟々賢大同窓会

ANAクラウンプラザホテル熊本ニースカイ

恩賜記念日5月21日恒例の「大同窓会」が熊本市中央区のANAクラウンプラザホテル熊本ニースカイで開催された。総会では任期満了に伴う新役員案が提示され、野口敏夫会長（S38）と新幹事案、規約改正など承認された。野口新会長は「歴代会長の尽力で同窓会活動は活発になっており、委員会も再編成された。我輩らしい多様な考えを聞いていける環境を整えていきたい」と就任抱負を語った。懇親会は冒頭から井薫前会長、野口敏夫新会長、川上修治賢長が挨拶を、甲斐智和幹事学年代表が参加者への御礼を述べた。乾杯は最年長昭和16年卒の大先輩3名が登壇。会場は約1100人の参加者で賑わった。最後は大団旗を掲げ、応援團OB会のリコーによる賛歌大合唱で閉会した。



▲乾杯の音頭をとるS16卒の先輩お三方。左から嶋田弘秋さん、丹生幸輔さん、荒木茂さん。



▲学賢関係ご来賓の方々と役員



▲懇親会に先立ち行われた総会

組織の活性化と 事業の推進に向けて



第10代会長
野口敏夫 (S38)

私は、平成27年5月21日開催の同窓会総会において会長を仰せつかりました野口敏夫でございます。昭和38年卒から会長就任の推挙を受け、また、両会長の同窓会運営方針を継承させて頂くことにつき、ご了承を頂きました。会長をお受けするに当たり、同窓会の使命や役割について考えてみました。同窓会会則は、会の目的について、「本会は会員相互の交誼を厚くし、教養を深め、母賢の発展を助け、尚、進んで社会公共のために尽くすを以て目的とする」(第二条)と簡潔に定めています。①同窓会は、まず、全ての年次の同窓生間の親睦(交誼)を図るものであります。

皆さんとするものであります。これらの同窓会の使命・役割・目的を達成するために、同窓会では、幹事を中心メンバーとして総務委員会、母賢支援委員会、広報委員会、事業委員及び青年会委員会を組織し、同窓会の事業を担っていくこととしています。青年会委員会は、40歳未満の委員を構成員とすることとし、若年層の組織化を図りつつ、同委員は、他の4つの委員会のいずれかの委員を兼務することとして各委員会の事業に習熟して頂き、将来の同窓会組織の柱となる人材を育てていこうというものであります。ついでに、同窓会の事業を実施する組織を強化するために、今回は、同窓会副会長を5人態勢とし、それぞれ委員会を担当して頂くことにしました。但し、副会長の担当は、委員会の自主性を損なうことがないようにゆるやかなものでよいと思っています。以上の通り、同窓会の組織を今以上に活性化させ、同窓会の事業を推進して参りたいと存じますので、同窓生の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

②同窓会は、さらに、現役世代の同窓生にとっ ては、各人の仕事上も役立つものであって欲しいものです。
③同窓生は、母賢が文武その他の分野において名門であり続けて欲しいと願うものであり、そのために、同窓会は、母賢の発展を支援していくものであります。
④一方、同窓会は、外に 向かっては、社会貢献をし社会公共の為に尽



同窓会副会長
嶋田 俊郎 (S39)



同窓会副会長
淵上 健一 (S38)



同窓会副会長
河島 義雄 (S38)



同窓会幹事長
今井 政文 (S49)



同窓会副会長
寺崎 温子 (S41)



同窓会副会長
東 求 (S40)



▲実行委員の平成6年卒業生
甲斐智和执行委員長 (H6) ▶



▲平成27年卒業生



おかげさまで持ちまして、今年度の創立133周年大同窓会も1000名を超える皆さまのご来場と、私たち幹事学年(平成6年卒)スタッフ百数十名を加えて、賑々しく大盛会にて終えることができました。約1年がかりの準備でしたが、今となれば思い出となる本当に楽しい時間でした。(もう二度とはできませんが…) 最後になりましたが、同窓の皆さまには本当にお世話になり、ありがとうございました。(実行委員長 甲斐 智和)



▲濟々賢飾馬奉納団～絆～の威勢のいいアトラクション

御挨拶



第30代会長
川上 修治

盛夏の候、野口敏夫会長様はじめ同窓会の皆様方には、本賢の教育活動に對して、日頃から多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。併せて皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

文部科学省スーパーグローバルハイスクール指定元年の昨年度に最高学年として活躍してくれた卒業生410名は、去る3月1日に学舎をあとに新たな世界に旅立っていきました。最高学年として、後輩の手本となり、文武両面にわたり、見事な活躍と軌跡を残してくれました。それは地球規模の自然災害、世界各国の政変不安定など、我が国のみならず世界全体の不安定な様相を吹き飛ばしてくれるような勢いでした。133年の歴史によって培われた三綱領に根ざす勢いが生み出す風は、本賢全体が醸した「賢風」となり、現在を駆け抜ける濟々多士としての「威風堂々」たる様相を示してくれていま

平成27年4月1日現在、新たに新入生412名を迎え、合計1232名の生徒と98名の教職員が一丸となり、赤誠の心を同じくして、三綱領精神の具現化のために、「国際的素養を備え世界をリードする濟々多士教育」の実践に努めています。

この実践は世界をリードするグローバルリーダー(濟々多士)の育成を志し、研究構想の柱となる「濟々多士教育プログラム開発」では、「持続可能性を確保する開発と地球環境保全のあり方」をテーマとして研究を進める課題研究活動ならびに英語を使った意見や成果発表プレゼン、即興型英語ディ

ベートや議論による実践的なコミュニケーション能力養成を図っています。指定初年度中間報告会は2月18日に行い、県内のみならず全国各方面から自主・自律の精神性の高い生徒の発表に数多くの感動と激励の言葉をいただきました。

また、5月21日の平成27年度済々賢大同窓会の幹事学年は平成6年卒で「思賢知新」をテーマに大同窓会を見事に成し遂げてくれました。私が20数年前担任した学年が平成4年卒と平成7年卒ですのでちょうど当時の学年と機を一にしています。不惑の年を迎えていた幹事学年の同窓生達はキラキラ輝いていました。何よりも昭和16年卒の先輩方3名による会冒頭でのかくしゃくたるご挨拶には、さらなる元気をいただきました。

「濟々多士の真骨頂は卒業して20年30年後に花開く」との話をかつて仕えた本賢OBの賢長先生から伺ったことがあります。その言葉が「徳・体・知」三育併進を体現する三綱領の精神が長い人生の中で、大いに、卒業生そして同窓生の追い風になっていると思えます。

さらに、スーパーグローバルハイスクールの指定は、私たちにあって済々賢の文化、スクールアイデンティティを改めて整理し、その文化、風土の営みを再考し、再生するきっかけにもなりました。

賢歌では、「宇宙の偉観清新の景趣はやがて我が理想の「天地万象皆わが師」進まん理想の目標」とわが皆がよび世界真実への決意を胸に、母賢愛郷土愛、大自然との融合、そして生きることの喜び・かけがえのなさを理想として求め続けることを歌い込んでいます。伝統の中に息づく普遍的三綱領精神を受け継ぎ、更に質の高い教育を実践し、誠心誠意努力していく覚悟でございませう。

結びに、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お祈り申し上げます、御挨拶いたします。



S35



S35



S34



S20(4)



S17



S16



S37



S36



S36



S23/24



S21/22



S20(5)



S39



S38



S37



S26



S26



S25



S42



S41



S40



S29



S28



S27



巒友会



S44



S43



S32



S31



S30



S47



S46



S45



S34



S33



S33

※撮影もれがあった場合はご容赦下さい。



H5



H4



H3



S50



S49



S48



H9



H8



H7



S53



S52



S51



H12



H11



H10



S56



S55



S54



H15



H14



H13



S59



S58



S57



H19



H18



H16



S59



S58



S57



H19



H18



H20



S62



S61



S60



H26



H25



H23



H2



H元



S63

※撮影もれがあった場合はご容赦下さい。

東海地区

今年は平成卒が仲間入り！
より活発な活動を展開

平成 26 年 5 月 23 日 (土) 名鉄ニューグランドホテル

総会に先立って、東京・聖路加国際病院の太田恵一朗消化器センター長 (S47) による「がん専門医から東海地区の多士の皆様へ」と題した講演が行われました。懇親会は少人数ながら和やかな雰囲気が進められました。今年は新たに昭和年代後半、平成卒が仲間入りし、より活発な活動が展開される予定です！東海地区同窓会 F B も開設したので、そちらもぜひご覧ください。

東海地区同窓会 F B

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100009700987024>



広島

懇親会だけじゃない！
楽しい活動が盛りだくさん

平成 27 年 5 月 10 日 (日) アークホテル広島駅南

応援団 OB や熊本同窓会、そして広島大学の学生も加わり、広島オリジナルグッズなどのビンゴもあるなど、賑やかな会となりました。

広島同窓会ではこのほかに、「お好み焼き体験会」や広島大学東広島キャンパス近くの「賀茂鶴酒造見学会」など、少人数ながら毎年楽しい活動をしています。お近くにお住まいの方、次回はぜひご参加ください。

広島同窓会 F B

<https://www.facebook.com/seiseikou.hiroshima?fref=ts>



▲ 濟々覺広島同窓会オリジナル三綱領、
賞章、賞舎画像入りじゃがりこ



▲ 賀茂鶴酒造見学会



▲ お好み焼き館ウッドエッグにて。
せえーの！でひっくり返し！

北九州

福岡も長崎も・・・
濟々覺はみんな集まれ！

平成 27 年 6 月 6 日 (土) 小倉飯店

今年はお隣の福岡、そして長崎からの参加者もあり、例年に増して賑やかな同窓会となりました。会長兼事務局の山本哲朗さん (S43) がお世話を頑張っておられます。



玉名郡市支部

年齢差はおよそ半世紀
同窓生の絆はいつまでも

平成 27 年 6 月 18 日 (木) 玉名立願寺ホテル

ご来賓として玉名警察副署長と植木同窓会から各 1 名ご出席いただき、昭和 25 年卒から平成 11 年卒まで幅広い学年、総勢 18 名の和やかな会となりました。

会長は神田雄充氏 (S34) に代わり池上緑良氏 (S38) が就任しました。

東京

「イケイケ 押し押し SEISEIKO」DE 愛♡的な！！

平成 27 年 5 月 23 日 (土) TKP ガーデンシティ品川

幹事・昭和 63 年卒業生が昭和のアンカーマン兼平成への架け橋役としてレトロ感覚たっぷりに演出。座席配置をステージに対しタテ割りという大胆な変更をしたため最前線の立食卓にも大勢が集い、活気を見せた。冒頭の挨拶で林田紀久男会長 (S33) は「先日 SGH 成果中間発表会で素晴らしい成果を見た。現役生は時代に合致する良いチャンスを得ている。そして私たち OB には良い伝統を守りつなぐ役目がある。同窓生の素晴らしい出会いを広げて行こう」と力強く語った。そして、おなじみの藤田元教諭の「乾杯」。くまモン登場で鏡開き、趣向を凝らした映像やゲームで参加者は終始賑わっていた。

東京では幹事学年 S63 会が 1 年間「DE 愛」誘発・SPL (Seisei Passion Laboratory) 創設や同窓会開催 CM、数々のイケ押しオリジナル商品企画などを手掛けた。その思いとノウハウはしっかりと「平成」へバトンタッチされたようだ。



▲ 林田紀久男会長 (S33)

▲ これがなくては「東京」は始まらない。
藤田八郎元教諭による乾杯の音頭



▲ 昭和 19 年～平成 27 年卒まで 700 人以上が集った



▲ くまモン、木原稔代議士 (S63)、川上翼長らが「セイセイコ〜」と鏡開き

関西地区

ますます懇親の輪が広がる
「関西ウォーク」「就職相談会」開催！

平成 27 年 5 月 9 日 (土)
ホテルニューオータニ大阪



▲ 栗山雅敏会長 (S40)

懇親会に先立って、東京・聖路加国際病院の太田恵一朗消化器センター長 (S47) による「がん専門医から関西の多士の皆様へ」のご講演が行われた。身近な健康に関する話題に参加の皆さんは熱心に耳を傾けられていました。

今年の高見廣流さん (S57) 書の大きな三綱領の屏風が飾られ、改めて「三綱領」の重みを感じつつ、全員で唱和。会の半ばでは今年新たに関西地区に進学した 8 名の紹介、また就活中の大学 4 年生からも積極的に話の輪に加わっていました。

関西地区では年に 1 度の総会・懇親会の他に、皆で関西地区を巡る「関西ウォーク」、就活する大学生のための「就職相談会」等を開催され、懇親の輪を広げています。

関西地区同窓会 HP <http://www.seiseiko-kansai.com/>



▶ 太田恵一朗氏 (S47) による講演



▶ 関西を再発見！
関西ウォーク



平成 27 年度 進路状況

済々覺は創立以来、国や地域のリーダー、あるいは社会の各分野で活躍する人材を数多く輩出してきました。本覺の名前の由来となった「多士済々」とは、多くの優れた人材が集まる様を表す言葉ですが、社会に有為な人材の育成という本覺の進路指導のスタンスは、現在でも終始一貫変わりありません。大学入試でも、志を高く持ち本当に自分が行きたい大学を目指すというチャレンジスピリット旺盛な生徒達を全面的にバックアップしていきます。(学費提供資料より)

過去 3 カ年の主な大学合格状況

学 校 名	年	27			26	25
		現役	旧卒	計		
北海道大		0	0	0	2	0
東北大		1	0	1	0	1
筑波大		3	0	3	4	3
千葉大		0	0	0	1	0
お茶の水女子大		0	0	0	1	0
東京大		0	4	4	0	2
東京外国語大		0	0	0	0	1
東京学芸大		2	0	2	3	4
東京工業大		1	1	2	2	1
電気通信大		1	0	1	2	1
一橋大		1	0	1	2	2
横浜国立大		2	2	4	1	4
名古屋大		1	0	1	0	2
京都大		2	3	5	6	4
大阪大		2	5	7	15	15
神戸大		0	1	1	3	8
岡山大		2	0	2	2	2
広島大		8	6	14	26	14
福岡教育大		4	1	5	11	2
九州大		27	8	35	40	19
九州工業大		6	0	6	3	2
佐賀大		5	0	5	4	1
長崎大		9	3	12	8	6
大分大		2	0	2	3	1
宮崎大		4	2	6	3	4
鹿児島大		21	9	30	32	12
熊本大		4	0	4	6	9
	教育	15	5	20	28	26
	法理	10	1	11	16	10
	医・医	5	0	5	7	10
	医・保	1	2	3	3	4
	薬	9	3	12	8	11
	工	0	1	1	3	8
	小計	18	2	20	30	16
	小計	62	14	76	101	94
国立大計		174	65	239	287	217

学 校 名	年	27			26	25
		現役	旧卒	計		
首都大東京		2	0	2	6	2
大阪府立大		2	0	2	3	1
北九州市立大		5	1	6	5	1
熊本県立大		20	3	23	21	16
公立大計		38	11	49	42	31
青山学院大		0	2	2	3	2
慶應義塾大		4	3	7	3	8
自治医科大		0	0	0	1	1
上智大		0	2	2	0	0
中央大		3	7	10	2	1
東京理科大		0	4	4	18	10
日本大		3	14	17	2	0
法政大		4	6	10	8	2
明治大		6	5	11	14	3
明治学院大		1	1	2	7	14
立教大		1	2	3	25	18
早稲田大		6	11	17	1	0
津田塾大		1	0	1	3	4
同志社大		8	8	16	14	17
立命館大		39	32	71	1	0
関西大		7	7	14	13	15
関西学院大		7	4	11	34	37
近畿大		1	21	22	6	5
西南学院大		28	10	38	8	12
福岡大		24	9	33	57	50
熊本学園大		14	3	17	49	33
崇城大		35	39	74	16	14
熊本保健科学大		30	2	32	22	32
私立大計		271	240	511	474	360
防衛大		0	2	2	3	1
防衛医科大		0	0	0	0	2
大 学 校 計		0	2	2	2	5
尚綱大短期大学部		1	0	1	3	3
短 大 計		2	0	2	3	2
国立医療センター看護学校		6	0	6	4	3
高 専 計		10	2	12	10	7

2つのプロジェクトで
国際的素養を身につける

SG コミュニケーションプロジェクト
SG COMMUNICATION PROJECT

- 1 年時：英語で議論し、英語で意見や成果を発表できる力を養成します。
- 2・3 年時：英語での実践的なコミュニケーション演習及び外国人に発信するための日本の伝統文化・歴史等の教養を醸成します。

SG リサーチプロジェクト
SG RESEARCH PROJECT

大気汚染や気候変動など、地球課題について研究します。また地下水保全や水俣病などの地域に密着した研究と世界の環境問題を平行に展開し、研究を深めます。

知識を磨き 文明を進む

世界へ 飛翔する 済々多士

済々覺が「国際的素養を備え世界をリードする済々多士教育プログラムの開発」を目標に掲げ、昨年度より5ヶ年間、文科省の「スーパーグローバルハイスクール」(以下SGH)の指定を受け、グローバル人材の育成のためのさまざまな活動を行っているのをご存じですか？今回はその計画の骨子と1年目である平成26年度の活動をご紹介します。

平成 26 年度活動報告

初年度の平成 26 年度は1、2年生に各1つのSGクラスを設け、以下の活動を行いました。

キックオフセレモニー

- 第1回 講演「未来のグローバルリーダーへ」
熊本県立大学学長 五百旗頭 真 氏
1年生及び希望保護者対象 (H26/7/8)
- 第2回 講演「グローバル時代の育人」
京都大学学長 松本 紘 氏
全学年及び希望保護者対象 (H26/7/15)
- 第3回 講演「国際感覚を持って生きるヒント」
熊本日日新聞編集委員兼論説委員 井芹 道一 氏
2年生及び希望保護者対象 (H26/9/24)



SG コミュニケーションプロジェクト

即興型ディベート基礎講座
SGクラスにおいてはディベートをすべて英語で行います。昨年度は基礎講座が9回行われ、ディベートの定義から実践、対戦まで行うことができるようになりました。



SG リサーチプロジェクト

- SG講演会
済々エコラボⅠ、Ⅱ (講演会：環境問題に関する全般的事項)
環境省九州パートナーシップオフィス 澤克彦氏
済々エコラボⅢ (環境に関するテーマ別講演 12本)
研究調査及び論文書き方指導⇒岡山大学 山田剛史氏、神戸大学 林創氏
グローバルな視点を持つ重要性⇒オックスフォード大学 岡本尚也氏
- フィールドトリップ
水俣環境学習ツアー
⇒全国のアフリカ人留学生と水俣で交流しました。
- 化血研訪問
⇒グローバルな視点を持つ地元企業の環境への取り組みを学びました。
- 立命館アジア太平洋大学でのワークショップ
(学生、教員ともに約半数が外国籍という多文化共生大学)
⇒同校と連携し、環境に関してディスカッションや意見交換を行い、また相互の親睦も図ることができました。



国際的素養

4つの国際的素養：【済々覺のグローバルリーダー】 = 【済々多士】

- 1 国際感覚を磨きます
身近な地域の課題に関する研究を進めながら、地球的視野で思考する態度や能力を身につけ、国際社会に生きる日本人としての自覚を育みます。
- 2 課題設定・解決力を身につけます
現代社会が抱える問題や課題に対する強い関心を持ち、論理的思考や科学的思考に基づいて課題解決を図る力を養います。
- 3 コミュニケーション能力を高めます
英語を情報伝達のツールとして活用し、英語で発信できる力を育てます。日本の伝統・文化・歴史等に関する知識を身につけます。外国の人々に発信するための教養を深めます。
- 4 批判的思考と創造力の向上を図ります
あらゆる情報や他人の意見を無批判に受け容れたり、一方的に否定したりするのではなく、自分なりの疑問や課題意識を持ち、能動的に捉える思考習慣や態度を身につけます。

SGH (スーパーグローバルハイスクール) とは？

SGHは、急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、コミュニケーション能力や問題解決等の力を身に付け、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る事業で、2014年度から始まりました。指定校は5年間にわたり、年間最大1600万円の助成を受けます。全国の国公私立高校246校が応募し、厳しい審査を経て、国立4校、公立18校、私立18校が指定を受けました。九州からは済々覺のほかにも大分県立上野丘高校と宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校が選ばれました。



神宮観戦記 更なる高みへ
大竹耕太郎投手

東京六大学野球春季リーグ戦は早稲田大学が完全優勝を果たし、その勢いそのままに日本大学野球選手権大会も制覇した。我が大竹耕太郎投手(1926)は春季リーグ戦で6試合に登板し4勝1敗、防御率0.89で最優秀防御率投手、ベストナイン賞に輝いた。早稲田大学の優勝は、2年生にして堂々たるエースとなった大竹投手の力と道端捕手の好リード、また打撃成績十傑に5人が名を連ねる強力な打線という投打の総合力の賜物であって、その強さは鉄壁に見える。

しかし油断大敵。秋季リーグ戦に向けて対戦相手は打ちあぐねた大竹投手の緩急・変化

球を織り交ぜた投球を、攻略すべく戦術を練り、練習を積んでくるだろう。対する大竹投手も春季から確実な進化を遂げなければならぬ。さらなる試練は来年、道端捕手を含む打撃成績十傑に名を連ねる5人中4人の4年生が卒業し、来春はその活躍に頼れない。孤軍奮闘となる事態も視野に、大竹投手は更なる高みを目指して練習に励むことだろう。その努力が継続するように、私も日々の応援を欠かさない。がんばれ大竹くん。(石村久恵 S60)



総文

平成27年度 熊本県高等学校総合文化祭

平成27年度 全国高等学校総合文化祭出場

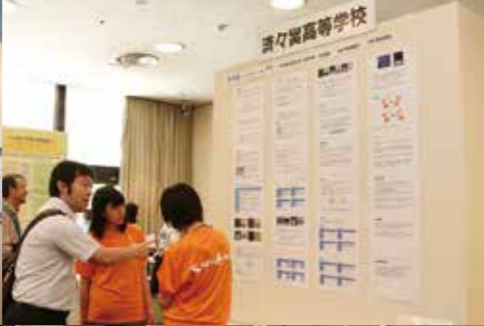
- 放送部：放送部門／朗読 女子1名
(栗東市栗東芸術文化会館きらら 7/31~8/1)
- 文芸部：文芸部門／男子1名、女子2名
(滋賀県高島市民会館ほか 7/29~7/31)
- 弦楽部：管弦楽部門／男子3名、女子34名
(滋賀県守山市民ホール 7/27~7/28)
- 吹奏楽部：管弦楽部門／男子7名、女子36名
(滋賀県守山市民ホール 7/27~7/28)
- 化学部：自然科学部門／女子2名
(滋賀県八日市文化芸術会館 7/30~8/1)

平成27年度 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト

- 放送部：朗読部門・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門 女子8名
(国立オリンピック記念青少年総合センター、NHKホール 7/21~7/23)

平成27年度 全九州高等学校文化連盟 美術・工芸、書道、写真展

- 写真部：女子1名 (宮崎県立美術館)



平成27年度 熊本県高等学校総合体育大会

総体

平成27年度 全国高等学校総合体育大会出場

- 漕艇部：女子ダブルスカル (円山川城崎漕艇場 7/31~8/3)
- 陸上競技部：男子400m (紀三井寺公園陸上競技場 7/29~8/2)

平成26年度 全九州高等学校総合体育大会出場

- ソフトテニス部：男子団体 (佐賀県総合運動場庭球場)
- 水泳部：男子・100m平泳ぎ、100m自由形、200m個人メドレー、200m平泳ぎ、4×100mR、4×100mメドレー-R、4×200mR
女子・100m自由形、100m背泳ぎ、100mバタフライ、800m自由形、50m自由形、200m背泳ぎ、200mバタフライ、4×100mR、4×100mメドレー-R、4×200mR (熊本市総合屋内プール)
- 漕艇部：男子ダブルスカル、女子ダブルスカル (佐賀県・富士しゃくなげ湖)
- 女子ハンドボール部：(大分県立総合体育館、大分県立大分鶴崎高等学校)
- 水球部：(熊本高等学校プール)



部活OB会連絡先一覧

部活OB会を掲載しています。他に活動しているOB会がありましたら、tashi@seisei-dosokai.jpまたは、096-345-3002 (多士会館) にご連絡下さい。

名称	連絡担当	TEL	メールアドレス	OB会ホームページ
応援団OB会	高浜 毅(S60)	090-1926-1330	jim@seiseiko-ouendan.com	http://seiseiko-ouendan.com
サッカー部	堤 敏郎(H元)	096-364-9251(職場)	seisei_so@yahoo.co.jp	http://www.seishukai.net
野球部	高田 徹(S55)	090-3734-7111		
空手部	中西 信雄(S50)	080-8354-0223	nobuo.nakanishi@me.jp	
水球部	片桐 英夫(S58)	096-353-2111(職場)		
ハンドボール部	吉村 昌展(S63)	090-4474-7020	robo-yossy@softbank.ne.jp	
バスケットボール部	山口 元成(H元)	090-8410-4828		
ラグビー部	山中 農(S28)	096-352-2868(自宅)		
柔道部	近藤 亨(S40)	096-382-3503(自宅)		
剣道部	山田 耕司(S54)	090-3732-1879	info@ko-kyu-kai.com	http://ko-kyu-kai.com
剣道部	後藤 孝文(S47)	096-355-3186(職場)	s.kendou@gmail.com	
陸上競技部	井福 裕俊(S54)	096-345-3002(同窓会事務局)		
バドミントン部	松田 克彦(H5)	090-8839-8992	seiseibad@yahoo.co.jp	http://hp.aanet.jp/~seisei/
合唱部	野口 喬(S41)	090-5722-6132	t-noguchi@s6.kcn-tv.ne.jp	
地学部	岩永 一宏(S58)	096-372-3333(職場)	kazz@bronze.ocn.ne.jp	

【水泳部】 男子 100m平泳ぎ 7位 九州大会出場 100m自由形 2位 九州大会出場 200m個人メドレー 3位 九州大会出場 200m平泳ぎ 6位 九州大会出場 400mR 3位 九州大会出場 400mメドレー-R 9位 九州大会出場 800mR 5位 九州大会出場 女子 100m自由形 7位 九州大会出場 100m背泳ぎ 4位 九州大会出場 100mバタフライ 6位 九州大会出場 800m自由形 8位 九州大会出場 50m自由形 4位 九州大会出場 200m背泳ぎ 5位 九州大会出場 200mバタフライ 4位 九州大会出場 400mR 6位 九州大会出場 400mメドレー-R 6位 九州大会出場 800mR 4位	【陸上競技部】 男子 400m 4位 南九州大会出場 800m 6位 南九州大会出場 4×400mR 6位 南九州大会出場 女子 4×400mR 3位 南九州大会出場 走幅跳 6位 南九州大会出場	【テニス部】 男子 団体 ベスト16 女子 団体 ベスト8	【バレーボール部】 男子 初戦敗退 女子 ベスト32	【柔道部】 男子 団体 初戦敗退 60kg級 1回戦敗退 2回戦敗退 女子 シングルスカル 3位 ダブルスカル 2位 九州大会出場 ダブルスカル 優勝 全国大会出場	【卓球部】 男子 団体 2回戦敗退 ダブルス ベスト16 シングルス ベスト16 女子 団体 1回戦敗退	【ラグビー部】 ベスト16 ベスト32 ベスト64	【サッカー部】 女子 団体 個人 2回戦敗退 ベスト4	【空手道部】 男子 団体組手 2回戦敗退 個人組手 初戦敗退 女子 団体組手 2回戦進出 個人組手 3回戦進出 ベスト4	【バスケットボール部】 男子 団体 2回戦進出 個人形 3回戦進出 初戦敗退 女子 団体 3回戦進出 個人形 2回戦進出	【ハンドボール部】 男子 個人形 2回戦進出 女子 個人形 2回戦進出	【バドミントン部】 男子 団体 6位 予選落ち 女子 団体 優勝 九州大会出場
--	--	--	---	---	---	---	--	--	--	--	---

黄線今昔 SAKU

各学年から近況、学年自慢、各種情報を寄せ頂きました。

昭和34年卒

一三四会（さんしかい）

訃報！

小さき大投手として高校野球史を彩ったS34卒の城戸博君が1月17日に75歳の生涯を閉じられました。

第30回（1958年）のセンバツ高校野球優勝投手だった彼は、早稲田大学に憧れ中学浪人をして済々黌に入學し、1年生からレギュラーとして参加、センバツ5試合で奪った通算三振は53個と驚異的な記録でした。優勝の凱旋パレードは約20万人の熱狂的なファンで埋まりました。（当時の熊本市の人口は約36万人）

卒業後はキャプテンの末次義久君らと早稲田大学に進学するも、利き腕の左肘を痛め野球を断念。大学卒業後は東京・足立区の奥様の実家である瓦屋根工事をを受け継ぎ、大きな寺院や民家等の屋根



業後は東京・足立区の奥様の実家である瓦屋根工事をを受け継ぎ、大きな寺院や民家等の屋根

を手掛け、古希近くまで黙々と働いておられ、休日には得意の絵をかくなど芸術的な面を持ち合わせていました。

写真は平成21年3月3日の卒業50周年記念同窓会の前夜祭において盟友の末次義久君（写真左）と実によく好々爺として談笑している城戸君（写真右）です。（末次君からの）

聞き取り調査 野口剛

昭和39年卒

一三九会（さんきゅうかい）

関西地区大同窓会

39会メンバーと再会

5月に開催された関西地区大同窓会は200余名の参加者で、39会からは光永健二君、木庭敬十君、福田章君、宮本健二郎の4名が参加し熊本から来賓として出席した島田俊郎君の計5名で昔話や近況に花が咲きました。関西地区では今まで同期の集まりを開催した事が無く、同期の輪・絆を深めようと今年の10月頃に大阪梅田で関西地区39会の集まりを開催する事に決



めました。（宮本健二郎）
※39会の同窓会を来年3月9日（水）に「熊本ホテルキャッスル」で開催します。

詳細は年末にご案内しますので多数のご出席を期待しています。

昭和46年卒

一四六会（よんろくかい）

危うくセーフ

6歳の時だったと思うが、春のセンバツで優勝した済々黌ナインを父と兄と一緒に熊本駅に迎えたところから、進む高校は済々黌と決まった。その済々黌入学試験の日、父の運転する車で玉名郡天水町の自宅から済々黌に向かったが、玉東町でエンストしてしまった。国道208号で片っ端から声をかけ、一台の車が止まり、「それは大変」と済々黌まで送ってくれた。試験のことしか頭になく、送ってくれた男の人の住所も名前も聞かずじまいだった。あれから半世紀ほどたつが、あの時、試験に遅れていたら別の人生だったろうと思う。見ず知らずの男の人のお蔭で、いい先生、いい仲



間と会えた。人生、紙一重、と思う。（高峰武）

昭和48年卒

一四八会（よんぱちかい）

定年

私たち昭和48年卒は今年の3月末日までは全員が60歳に達しました。会社員、公務員、団体職員等の勤め人のほとんどが定年退職し、再雇用などの第二の人生を始めています。またこの他にも自営業、定年がまだ先の会社員、大学教授、会社役員等は今まで通りの仕事を続けていますし、新たに県議や市議になった者、仕事を始めた者、家業を継ぐ者、毎日が日曜日を楽しんでいる者等、多岐に亘る生活を営んでおります。

先日行われました創立133周年大同窓会の参加者は例年よりかなり少ない14人でしたが、前述したとおりの多士済々のメンバーが集まり、近況報告や情報交換をして、楽しくまた有意義な時間を過ごすことができました。こういう会に



▲平成27年度代同総会にて

は時間が許す限り出席すべきです。同級生の多くは仕事の第一線を退きましたが、そのおかげで余裕ができた時間を地元のことや社会貢献に使うことができます。そのためには健康にも十分注意していきたいと思っています。（白石正治）

昭和51年卒

一五一会（ごいちかい）

S51年卒 H27年D51会同窓会 済々黌昭和51年卒業生は、平成27年3月14日（土）に、鶴屋ホールにて平成26年度D51会同窓会を行いました。

先に実施された福岡同窓会実施幹事数名も、お礼も兼ね来熊し、総勢43名が集まり、久しぶりに会う顔も多く、あちこちで「あやつは、だあだろか?」「じゃ、じゃんぶんからん」とか飛び交う中、お互いの若き日々を思い起こし大いに盛り上がりました。特に福岡から来てくれた池○君は、高校時代の面影が全くなく、「あ、ほんなこつ池○や」と会った時に冷やかされとったです。

また、第133回済々黌大同窓会の幹事学年（H6年卒）から、参加への宣伝と済々黌グッズ販売があり、同窓会の盛り上げに協力いただきました。



「来年は卒業40周年、再来年は還暦同窓会は盛大にするけれど、皆な絶対来なんぞー」を合言葉に、浩一ちゃん（大田黒君）のエールを最後に盛況のなか閉会し、後は、名残惜しい仲間同士で熊本の夜の活性化に貢献しました。（上城弘幸）

昭和57年卒

一五七会（いなせかい）

精進する男たち

昭和57年卒「五七済（いなせ）会」から「五七済（いなせ）会」から彫刻家の片山博詞さんと書道家の高見広宜くんを紹介し

ます。



片山くんは、大学時代から始めた彫刻を教職に就いた今でも続けており、日展会員、審査員として活躍、去年は「大関魁皇像」を制作しました。今夏は5月30日（土）〜7月12日（日）まで直方谷尾美術館にて、個展「見えるものと見えないものの間」を開催しました。一方、高見くんは、日展会友を始め、様々な書の団体の重責を担い、大学で書の教鞭を執る傍ら、自身の書の制作と後進の育成に取り組んでいます。今年の関西地区同窓会では、その自身の作である三綱領の金屏風（左の写真）を披露しました。作家として円熟期を迎える2人の今後益々の精進を期待します。（酒匂士郎）

昭和63年卒

一六三会（ろくさんかい）

濟々黌東京同窓会

幹事学年を終えて

本年は先に開催された東京同窓会2015実行委員の年でした。お陰様で当日は700人以上の同窓生が集う大盛況で終わることができました。改めて御礼申し上げます。

昭和最後の卒業生である我々は「昭和と平成を繋ぐ出会いパトーン」をテーマに準備を進めてきました。プレイベントの実施当日も様々な工夫を行い来場の皆様を一つにできました。何より我々同級生が60人以上も集い、個々の力を存分に出し切った達成感で感動の同窓会となりました。離れていた同級生の絆があったという間に繋がる。済々黌という学び舎で育まれた個々の貴重な3年間は時空を越えたおまじないのようなもの。最後に全員で交わした笑顔や涙はこれからの人生における共有の宝物になった一日でした。

平成27年済々黌東京同窓会 実行委員長 高本誠也



平成3年卒

一三三会（へいさんかい）

青春の味 桃園園 天津飯

今回は平成3年卒「野田宏一郎」が提供している、「青春の味 桃園園 天津飯」のご紹介をさせて頂く。

「桃園園」とは当時母覺正門を下ったバス停前に存在した済々黌生徒の主食を提供していた大衆中華食堂である。

北九州で西鉄路面電車の運転手をしていた穴井氏が、昭和48年に開業。驚異的な低価格で我々の空腹を満たしてくれた。残念ながら平成15年、30年の歴史を以って惜しまれつつ閉店。今でも多くの同窓生各々に、あの味が深く刻まれていることだろう。我々にとってどんな高級中華料理店よりも最上位に位置する店、それが「桃園園」である。一番の人気メニューは「天津飯」。一般の知られたカニ玉・甘酢のものとは程遠く、決して美味しくはないが、中毒になってしまいう味である。

そんな「青春の味」を復活させた男がいる。平成3年卒の「野田宏一郎」、迎町交差点にある焼鳥「串道楽」のオーナーで



勿論、焼鳥各メニューは言うまでもなく絶品、最近では第二の人氣メニュー「焼き飯」も登場、是非通って頂き、気さくで寂しがり屋の野田氏に声を掛けて頂きたい。（坂田寛之）

ある。当時の野田は遊びとラグビーに没頭しつつ、幾多の同窓生同様、桃園園の虜になった人間の一人だ。そんな青春の味である桃園園人氣メニュー「天津飯」を、独自で研究、我々同窓生の辛口コメントを参考に試行錯誤を重ね、「串道楽」の裏メニューとして4年前に登場。その完成度の高さから、口コミで広がり、今は正式表メニューとして定着。平成24年の大同窓会において、桃園園ブースを設置、「天津飯」を披露、好評を得る。現在は毎晩の様に、母覺同窓生が通い、締めめの注文で「天津飯」に舌鼓を打っている。小生は、決して彼のことを褒めたことはないが、「天津飯」の完成度は完璧、「天津飯」に欠かすことの出来ない自家製の「桃園園フー油」も絶品で華を添えており、自信を持ってお勧めできる、「青春の味」である。

済々黌同窓会 平成26年度決算書及び平成27年度予算書（一般会計及び特別会計）

※下記の収支決算書・予算書は、平成27年4月20日開催の「幹事会」並びに4月24日開催の「代表評議員会」及び5月21日開催の「総会」に於いて、事業報告・事業計画と共に審議され、承認されました。

平成26年度		
済々黌同窓会 一般会計 決算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)		
◇収入の部 (単位:円)		
科目	補助科目	決算額
入会金		1,218,000
年会費収入		7,535,000
寄付金収入		2,014,814
雑収入		139,539
利息収入		1,543
事業収入	多士講座賛助金	200,000
	ホームページ賛助金	850,000
	事業収入計	1,050,000
総収入計(A)		11,958,896
◇支出の部 (単位:円)		
科目	補助科目	決算額
総務委員会	事業費	199,385
	会議等使用料	18,000
	計	217,385
組織委員会	事業費	443,800
	青年会費	184,552
	会議等使用料	15,000
	計	643,352
育成委員会	事業費	41,664
	会議等使用料	3,000
	計	44,664
多士会館委員会	事業費	82,254
	会議等使用料	66,000
	計	148,254
広報委員会	事業費(会報印刷費)	1,005,755
	事業費(会報発送費)	1,432,780
	会議等使用料	24,000
	計	2,462,535
各委員会支出 小計		3,516,190
助成費	大同窓会助成費	300,000
	応援助成費	100,000
	卒業証書用丸筒	97,416
	済々黌進学関連助成金	0
	計	497,416
事務局事業費	広報費	40,608
	会議等使用料等	160,424
	計	201,032
事務局業務費	印刷コピー費	207,034
	通信費	192,266
	支払手数料	130,546
	消耗品費	92,990
	慶弔費	225,513
	旅費交通費	130,089
	IT機器メンテナンス費	116,096
	ホームページレンタルサーバ料	38,574
	リース料	187,740
	雑費(熊日購読料含む)	105,362
	計	1,426,210
業務委託費		1,800,000
記念事業積立金		1,000,000
多士会館寄付		850,000
特別会計繰入		1,000,000
予備費		0
各委員会以外支出計		6,774,658
総支出計(B)		10,290,848
収支差額(A)-(B)=(C)		1,668,048
前期繰越金(D)		3,644,632
次期繰越金(C)+(D)		5,312,680
◇次期繰越金内訳(資産内訳) (単位:円)		
科目	金額	
現金	211,775	
銀行普通預金	3,428,526	
郵便振替口座	2,028,379	
預り金 ※1	△ 356,000	
合計	5,312,680	
※1		
預り金内訳	金額	
双慶会年会費(～平成31年まで)	350,000	
個人年会費預り(H27.28分)	6,000	
合計	356,000	

平成27年度		
済々黌同窓会 一般会計 予算		
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)		
◇収入の部 (単位:円)		
科目	補助科目	予算額
入会金		1,236,000
年会費収入		7,000,000
寄付金収入		1,200,000
雑収入		70,000
利息収入		1,500
事業収入	多士講座賛助金	200,000
	ホームページ賛助金	3,000,000
	事業収入計	3,200,000
総収入計(A)		12,707,500
◇支出の部 (単位:円)		
科目	補助科目	予算額
総務委員会	事業費	0
	会議等使用料	18,000
	計	18,000
母費支援委員会	事業費	60,000
	会議等使用料	18,000
	計	78,000
広報委員会	事業費	2,595,000
	会議等使用料	39,000
	計	2,634,000
事業委員会	事業費	550,000
	会議等使用料	18,000
	計	568,000
青年会委員会	事業費	445,000
	会議等使用料	5,000
	計	450,000
各委員会支出 小計		3,748,000
助成費	大同窓会助成費	300,000
	応援助成費	100,000
	卒業証書用丸筒	70,000
	済々黌進学関連助成金	0
	計	470,000
事務局事業費	広報費	100,000
	会議等使用料等	150,000
	計	250,000
事務局業務費	印刷コピー費	230,000
	通信費	170,000
	支払手数料	130,000
	消耗品費	120,000
	慶弔費	200,000
	旅費交通費	130,000
	IT機器メンテナンス費	202,000
	ホームページレンタルサーバ料	25,000
	リース料	190,000
	雑費(熊日購読料含む)	120,000
	計	1,517,000
業務委託費		1,800,000
記念事業積立金		1,000,000
多士会館寄付		3,000,000
特別会計繰入		0
予備費		50,000
各委員会以外支出計		8,087,000
総支出計(B)		11,835,000
収支差額(A)-(B)=(C)		872,500
前期繰越金(D)		5,312,680
次期繰越金(C)+(D)		6,185,180
◇特別会計次期繰越金内訳(単位:円)		
科目	金額	
現金	153,940	
銀行普通預金	1,262,579	
銀行定期預金	8,000,000	
郵便貯金	1,640,126	
130周年事業 振替口座	2,897,970	
郵便定期貯金	2,000,000	
育成普通預金	555,802	
預り金(応援帽子代)	△ 64,500	
合計	16,445,917	

平成27年度		
各委員会別事業予算詳細		
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)		
◇収入の部 (単位:円)		
委員会	事業名	事業収入
事業委員会	多士講座賛助金	200,000
財務委員会	ホームページ賛助金ほか	3,000,000
	事業収入合計	3,200,000
◇支出の部		
委員会	事業名	事業支出
総務委員会	同窓会に関連する会議・集会等の開催及び支援	0
	現在及び将来にわたる同窓会・多士会館の財務対策	0
	新卒者への同窓会組織周知・同窓会活動方法の指導・支援	0
	不活動な学年への指導・支援	0
	多士会館使用料(会議6回)	18,000
	計	18,000
母費支援委員会	スーパーグローバルハイスクール(SGH)への支援	0
	済々黌部活の全国大会出場への支援	0
	多士賞選考・授与	60,000
	多士会館使用料(会議6回)	18,000
	計	78,000
広報委員会	会報編集発行やその他刊行物の作成発行	2,420,000
	インターネットによる広報活動	165,000
	広報に関するその他の業務	10,000
	多士会館使用料(会議13回)	39,000
	計	2,634,000
事業委員会	同窓会活動及び社会的事業の立案	550,000
	ボランティア活動	0
	多士会館使用料(会議6回)	18,000
	計	568,000
青年会委員会	春のイベント	100,000
	大同窓会への青年会からの出席促進活動	0
	青年会総会・懇親会	100,000
	就活学年のためのOB・OG就職相談会	145,000
	ボランティア活動と忘年会	50,000
	市民公開セミナー多士講座への協力	0
	新年会	50,000
	多士会館使用料(会議5回)	5,000
	計	450,000
	事業支出合計	3,748,000
※1 広報委員会:会報編集発行やその他刊行物の作成発行 詳細		
項目	金額	
会報版下制作代	230,000	
会報印刷費	1,200,000	
会報発送費	1,800,000	
多士会館負担分(印刷費・発送費のそれぞれ1/4)	-810,000	
計	2,420,000	
※2 事業委員会:同窓会活動及び社会的事業の立案 詳細		
項目	金額	
げたばき塾(一般の方向け、年1回)	100,000	
市民公開セミナー多士講座・講師料		
市民公開セミナー多士講座・新聞広告料	450,000	
市民公開セミナー多士講座・諸経費		
計	550,000	

同窓会年会費納入のお願い

同窓会活動は、同窓生の皆様からの年会費(3,000円但し卒業後5年間は1,500円)によって支えられています。今年度もどうぞ皆様のご協力よろしくお願いたします。納入には、同封の郵便払込票をご利用ください。多士会館内の事務局に直接お持ち下さっても結構です。
※学年で一括納入される場合もあります。その場合は、各学年からご連絡があると思いますが、ご不明な点がございましたら、いつでも事務局へお尋ね下さい。

平成26年度 済々黌同窓会 寄付金収入及び助成金	
寄付金収入	
大同窓会幹事学年平成5年卒会より	1,000,000
昭和10年卒鶴瀬良弼様より	1,000,000
BANKI HOLDING様より	14,814
助成金	
大同窓会準備金として(平成6年卒会へ)	300,000
応援同好会へ	100,000
卒業証書丸筒(平成27年3月卒業生へ)	97,416



▲H27卒の歓迎BBQパーティを開催しました！



▲昨年の「就職OB・OG相談会」の様子

「宅建多士会」は不動産業・建設業並びに関連業種に携わる、熊本県立済々黌高校OBの会です。本会は会員相互の修練と親睦を計り、済々黌卒業生・同窓生としての誇りと情熱をもって、社会に広く奉仕することを目的として日々活動しています。宅建業のみならず、以下に関連する各種スペシャリストの`黄線集団、が本会のネットワークを駆使し、同窓生をはじめとするみなさまの不動産にまつわる各種相談ごとに、ワンストップで対応しています。前期も5名の新メンバーが入会されました。入会ご希望の同窓生へ常に門戸は開いています。我こそはと思う方は、右記載の問合せ窓口まで是非ご連絡ください。同窓の絆を深めていきましょう。

また、本会では毎年不動産相談会を開催しています。昨年は事前に新聞広告を行ったこともあり、あらかじめ相談資料をご用意されるなどで過去最高のご来場者を記録し、大盛況に終わりました。今年も通算10回目で11月14日(土)に開催いたします。不動産各種相談・建設各種相談・法律各種相談など、不動産に係る様々な悩み事を気軽に相談していただけるイベントです。今年も長らくお世話になった交通センター地下会場から、装いも新たに下通商店街アーケード内元ダイエー前で行うことが決定しました。是非黄線で繋がった各スペシャリストの元気な姿を応援しに来てください。会場でお待ちしています。第16代会長 岩崎光(S50)

- 【会員業種】**
- 不動産業
 - 建設業
 - 建築士事務所
 - 土木コンサル業
 - 住宅メーカー
 - 解体業
 - 不動産鑑定士
 - 土地家屋調査士
 - 社会労務士
 - 税理士
 - 司法書士
 - 弁護士
 - 保険業
 - 福祉関連業
 - 印刷業
 - 自動車学校
 - 衆参県市議員
 - その他
- (H27年7月末現在 会員総数 61名)



H27・6 情報交換会・年祝い会 at 熊本交通センターホテル



H26・9 不動産相談会 at 熊本交通センター 地下 観音の泉前広場

40歳以下会員 済々黌青年会 鏡集

6月13日(土) CANDLE(熊本中央区新市街)にて、平成27年度青年会総会懇親会が開催されました。野口同窓会会長、島田副会長、東副会長、その他各委員会委員長の先輩方にご来賓としてご出席頂き、65名の参加者全員、懇親を深めるなかで母費愛を確かめ、たいへん有意義なひとときとなりました。今年1年、平成8年卒が青年会活動を担って行きます。当日は18名の同級生が駆け付けてくれました。青年会活動が益々活発なものになるよう、諸先輩方からご指導を頂きながら、同級生、ならびに後輩達と一所懸命取り組んで行きます。宜しくお願いします。

- 平成27年度青年会
 会長 大森 恵太(H8)
 副会長 永友 賢一朗(H9)
 会計 藤井 順(H8)

H27年度 就職OB・OG相談会 in多士会館

予告 8月29日(土) 13:30～16:30(受付13:00) 18:00～懇親会(学生会費¥1,000)

今年はH25年卒(大学3年生)が対象学年となります。ご案内のハガキが届いていると思います。

ぜひ奮ってご参加ください!! こんな機会は滅多にないよ(^^) 頼もしい先輩方が、ざっくばらんに相談にのります!!

済々黌 宅建多士会

宅建多士会 平成27年度(第33期)年間事業計画	
3/11(水)	H27年度総会
4/11(土)	情報交換会・国政報告会
5/8(金)	情報交換会・定例会
6/11(木)	情報交換会・年祝い会
7/25(土)	宅建高校OB連合会・年次大会
8/7(金)	多士黨流会・第5回年次大会
9/11(金)	情報交換会・ウェルネス(内外部研修会)
10/9(金)	情報交換会・歴代会長・功労会員をたたえる定例会
11/14(土)	不動産相談会・会員拡大イベント
12/11(金)	情報交換会・100%例会・忘年会
1/8(金)	情報交換会・講演会・新年会
2/10(水)	情報交換会・県政・市政報告会
3/11(金)	情報交換会・H28年度総会

問合せ窓口 : 宅建多士会 事務局 運営専務 中西 信雄(S50) ☎ 080-8354-0223 まで “宅建多士会の件で!”とお尋ねください。

H27年度 宅建多士会不動産相談会

予告 11月14日(土) 11:00～17:00

会場:下通商店街アーケード内(元ダイエー前) 黄線スペシャリストが相談にのります。ふるってご参加ください!

詳しくはWEBへ

多士会館のさらなる発展のために

一般財団法人多士会館
代表理事 野口敏夫 (S38)

今年度、一般財団法人多士会館の代表理事に就任致しました野口敏夫です。

この会報の裏表紙に御芳名をご紹介させて頂きました通り、昨年度も沢山の方々から維持会費及び寄付金を頂きました。心より感謝申し上げます。

「多士会館」は済々黌100周年の節目に、その当時の同窓会の先輩方が「これまでの百年の同窓生からこれからの百年の済々黌生へ（贈る）」をコンセプトに建設され、現在も、同窓生を始め、母黌のある黒髪地区の皆様、母黌の在校生、PTAの皆様、教職員の皆様に、そして同窓会の事務局として、広く利活用頂いており、身近な施設として親しまれています。また、母黌の部活に対しては、九州大会、全国大会出場の際に助成金をお渡ししています。決算表をご覧になってお分かり頂けます通り、この多士会館はその収入の大半を同窓生の方々からの「維持会費」及び「ご寄付」という同窓生の皆様方から頂く浄財により支えられております。有難いことに昨年度は、予算を上回る維持会費及びご寄付を頂戴できましたお蔭で、右ページにご紹介しました通り、1Fトイレの洋式化、1FフロアのAEDの設置など懸案の修繕等を行うことができました。

建設から早31年、堅牢に建てられている多士会館も少しずつ修繕が必要な箇所等が発生しており、今後とも維持管理に経費が高むことが予想されます。また大規模修繕のための積立も必要になってきております。

景気が上向いてきたとはいえ、まだまだ経済情勢の厳しき折、皆様に更なるご負担をお願いするのは心苦しい限りですが、今年度も「維持会費」及び「ご寄付」など、皆様からのお志を心よりお待ちしております。

ご納入は従来通りの同封のゆうちょ払込取扱票をご利用下さい。払込取扱票によるお振込みは、郵便局の窓口の他、ATMにて可能ですが、また現金にても多士会館事務局にて受け付けております。

重ねまして、今後とも皆様からの変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

助成金をお渡ししました！

今年も総体総文の九州大会、全国大会に出場する済々黌の部活動に助成金をお渡しすることができました。出場する皆さん、頑張ってください！

詳細は総体総文のページにて。

各部活動の精鋭が勢ぞろい！▶



卒業後6年目学年 組織強化資金について

同窓会では卒業後6年目の学年（現役進学で社会人2年目）に、学年組織強化のために助成金（利用後の決算報告が必要）を贈呈しています。ただし、贈呈は申請があったときのみ致します。

「卒業後初めて同窓会を開きたいけれど、初動活動資金（会場押さえの前金や案内等）をどうしようか」という悩みを一挙解決！

今年の対象学年は平成22年卒です。



毎年卒業式の際に同窓会から「済々黌らしい活躍をした生徒」に贈られる「多士賞」。昨年度は応援団で頑張った井戸川桃花さんに！

ご寄付いただいた方々

金額 (円)	金額 (円)
済々黌新入生	3,248,000
済々黌同窓会 (HPバナー広告)	850,000
富永征男 様 (1Fトイレ工事費用)	700,000
富永晃夫 様 (1Fトイレ工事費用)	700,000
昭和49年会 (AED設置費用)	350,000
古市規矩夫 様	200,000
平成5年卒会	150,000
佐藤泰将 様	100,000
済々黌同窓会 多士会館委員会 (スイーツ販売収益の一部)	50,000
済々黌八代同窓会	33,000
済々黌三四会	30,000
多士黌流会	29,000
中野和光 様 (けたばき塾 講師料)	15,000
三池泰弘 様	10,000
黒髪校区自治会	10,000
赤星慶治 様	10,000
平成4年 (グッズタオル売上)	4,000
東京同窓会 (グッズメモパッド売上)	1,200

平成26年度一般財団法人多士会館の現況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	5,804,597
2. 固定資産	
(1) 基本財産	195,499,696
(2) その他の固定資産	45,102,292
固定資産合計	240,601,988
資産合計	246,406,585
II 負債の部	
1. 流動負債	434,254
負債合計	434,254
III 正味財産の部	
一般正味財産	245,972,331
正味財産合計	245,972,331
負債及び正味財産合計	246,406,585

収入	金額
維持会費収入	5,098,000
寄付金収入	6,490,200
その他の収入	2,698,775
収入合計	14,286,975
支出	金額
事業支出	7,209,938
管理支出	6,631,636
支出計	13,841,574
当期収支差額	445,401
今年度期首残高	245,526,930
今年度期末残高	245,972,331

事業内容	人数
継続事業 学習施設の運営	4,773
研修施設の運営	900
その他の事業 貸室事業 (会議等)	3,704
貸室事業 (合宿等)	505
合計	9,882

部活名	金額 (円)
運動部 水泳部	160,000
水球部	130,000
陸上競技部	120,000
男子ソフトテニス部	30,000
弓道部	15,000
ボート部	10,000
文化部 ESS	60,000
放送部	35,000
化学部	10,000
合計	570,000

HPバナー広告で多士会館を応援！

済々黌同窓会HP右端及び下段に広告スペースを設けており、年間契約1年更新で、1スペース年間5万円となっています。

この賛助金は多士会館へ維持管理費として寄付されます。

創立100周年記念で建設され、現在も在校生の課外、合宿、自習、同窓生の会合などに広く利用されている多士会館。その存続のために、ぜひ全国の同窓生の皆様のご協力をお願いいたします！

お問い合わせ・お申込み
同窓会事務局まで。
TEL: 096-345-3002
FAX: 096-346-3225



http://seiseiko-dosokai.gr.jp/

済々黌同窓会 検索

ご連絡をお待ちしております！



▲多士会館2Fの英霊の碑



▲赤星慶治さん (S44) ▲堀内一誠さん (S26)

英霊慰霊祭を実施

多士会館2Fには平成17年に第二次世界大戦英霊顕彰済々黌有志の会が建立した「英霊の碑」があります。今年度は英霊のお一人、堀内豊秋さんのご子息堀内一誠さん (S26)、第10回多士講壇講師である元海上幕僚長の赤星慶治さん (S44) を迎え、平成27年2月7日 (土) に英霊慰霊祭を行いました。

ご寄贈、ご寄付 ありがとうございます！



▼手洗いも新しく！



▲手すりもあり使いやすいトイレ

◀ご寄贈いただいた富永征男さん (S33・右)、晃夫さん (S34・左)

建設以来30数年を経て、特に水回りが気になり始めた多士会館。特にトイレに関しては、高齢の同窓生から「洋式にしてほしい」というご要望の声が上がっていました。これをお聞きになった富永征男さん (S33)、富永晃夫さん (S34) のご兄弟から、1Fトイレの洋式化工事代金をご寄贈いただけるという有難いお申し出をいただき、さっそく工事着手。昨年末に新しくなったトイレは、入口の段差を解消し、個室の横壁には手すりも取り付けることができました！

さらに富永ご兄弟からは2F3Fの洋式化工事のご寄贈のお申し出もいただいております。現在工事を計画しております。お楽しみに！

1～2F階段に「三綱領額」



▲同窓生ならすぐにわかる「三綱領」

平成27年2月28日に惜しまれつつ閉店した「県民百貨店」。そのテナントとして長年「中華園」を営業されてきた趙健次さん (S35) より、趙さんがご子息の岳人さん (S61) のために書かれた「三綱領」の額をご寄贈いただきました。



▲ご寄贈いただいたS49会・今井政文会長

1FフロアにAED設置！

昭和49年卒会からAED (自動体外式除細動器) 設置リース費用を御寄贈いただき、1Fフロアに設置させていただきました。



▲H26.10.29 幹事会において西村尚多士会館委員長より井前多士会館代表理事へ寄付贈呈



西村委員長から井代表理事へ贈呈

同窓会・多士会館委員会の皆様には、平成25年度より平成26年度までの同委員会企画制作のスイーツ販売収益金の一部 (総額142,544円) (平成25年度38,527円、平成26年度50,000円、今年度51,017円) を多士会館にご寄贈いただきました。

多士会館委員会の皆様には大変お世話になりました。話になりました。厚く御礼申し上げます。

◆野口敏夫新会長を迎え、委員会再編等で新体制がスタート。井前会長は学歴等意味を含め「先祖返り」と表現し、パトロンタッチした。新会長は30年前の同窓会草創期会則作成の折語って頂けるであろう。幹事は50人枠となりまさに多士会館へ対応する人的準備は出来た。「名門・済々黌」の同窓会も立派でなくてはならない。

編集後記

坂井木綿子 (S60)
関本 郁夫 (S52)
荒川 慎太郎 (S53)
塚田 一郎 (S53)
森 佐智子 (S46)
中野 伸治 (S61)
渡邊千登勢 (H3)
江副 弘幸 (H9)
同窓会事務局
喜多 奈美 (S52)
上野功一朗 (S61)

お蔭様で平成26年度も、一般財団法人多士会館に皆様より総額 **5,098,000円** の維持会費のご納入をいただきました。ありがとうございました。会館運営は主にいただきました維持会費、ご寄付にて行わせていただいております。引き続き今年度もご納入を伏してお願い申し上げます。

維持会費をいただいた方々(敬称略)

昭和6年
(故)山内朝輔
昭和9年
山田寿夫
昭和11年
(故)高木正男
昭和12年
乙丸勝幸、津田政之
昭和13年
半澤幸親
昭和15年
工藤義二
昭和16年
(故)山田潤②、喰田弘秋
昭和17年
池松秀夫
昭和18年
(故)大童秀夫、中島薫
昭和19年
大原淳②、飯川勉、清田稜成郎、高島和人、又井徳生、園田時雄、美作博、荒牧義隆
昭和20年(5)
吉田昭造、出田正武、興津景昭、水野勝英、島清房、西澤忠實、坂梨敬助、角田昌和、川本孝一
昭和20年(4)
後藤大典、後藤辰雄、池田運、井手昭、権藤隼、古谷達人、洲上濟、村上了一、古川秀之、石田久治、山下敏雄、平川浩一
昭和21、22年
魚住桂一、吉田昭之、弓削淳昌、荒木忍、彌富孝一、(故)今江正知、松本良親②、稲田正雄、永田達也②、植田拓次、緒方誠一郎、荒木久、丹辺文彦、牧野勝典、秋月泰輔、伊東俊治
昭和23、24年
(故)上田日出夫、和泉信一郎、高森安生、松浦竹伸、入江昭明、古閑孝之、原純、今池興治郎、岡崎典昭、太田英義、川島輝俊、一丸孝明、篠原敬、(故)濱清四郎、中村好正、中山純郎、蓮田晶一
昭和25年
福山清、川口秀門、安田昌資、磯本昭、石田寛、後藤道輔、藤田恒夫、若越彪、東良二、高木敦子②、島田康宏、加藤榮彦、内藤敬義、吉永砂夫、吉水洋、平川浩一
昭和26年
若永研一④、佐藤泰将④、貴島武之、田邊國治、三宅英治、後藤俊郎、齊藤春、菅篤哉、大塚樹也、片桐幸、吉見幸男、布田建策、松永兎、末田誠、隈部喜七郎、柴田幹男、(故)反後皓介、松本知一、(故)石田三徳、江郷吉五郎、牧野耕治②、池辺和彦、大谷隆俊
昭和27年
須藤正二、大森謙次、橋口武仁、小田義英、緒方義文②、中村善雄、福田敏男、菊川有臣、浜田竜之介、松岡英世、武藤宏一郎、坂田定直、木村寿昭、川津統太郎、佐治武光、沖村浩史②
昭和28年
田中貴夫、佐藤公介、高橋明男、池上節夫②、山中農、田方邦敏、河嶋睦夫、宮本孝男、森正孝、野口泰一郎、金光俊嘉、澤田多喜子、濱崎美登里
昭和29年
友枝七郎、尾浦武昭②、北里綾子、坂田晃司②、光安行子、宮本安基、本村桂子、平英雄、有田毅、竹下洋敏、藤掛宣彦、赤星宏輝、中村康子、駿河成子、大森義行、木原克、竹部政之、天津眞砂子、蒲池孝之、園原正繼、宮本義盛、松本敏弘、田上範、藤原京子、宮田波子、笠川人
昭和30年
木田成藏②、(故)安倍群明、野田昭二郎⑥、高木東介、古川博恭、古住洋二郎、八木義樹、大石弘、田尻瑛子、田尻晋一、森壽樹、樺木憲成④、嶋田一朗、瀬口則夫、安部裕也②、佐藤静一、田中いよ、藤田紀美子②、木村純久、緒方進一、宮本雄一、坂本益、坂崎善之
昭和31年
日野信也、林田博子、一瀬大次郎、羽室道夫、福岡良信、城野敏、浅山晃、丸目佳代子、東山澄久、松下虎紀、後藤弘子、吉井瑞代、福島八郎、宮本健一、塘直樹、

大群憲司、長田孝吉、古谷順子②、池上洋一、前田英明②
昭和32年
安藤雅夫、福田弘②、御船眞也、赤尾美知子②、内田寅雄、田中恒俊、村口鐵春、吉岡健、吉村正美、徳永公治、上野一明、永野亨、平瀬直邦、河嶋敏、吉村伸一②、田中寛、上田皓章、竹野靖雄②、松本耕紀、池田悠爾、冢入健、蓮岡長久、渡辺章三、竹原芳江、松田長久、浦田邦夫、関正長、古莊義之④、前田栄治、武田征章、高田浩一、徳弘知人
昭和33年
三三会②
昭和34年
古市規矩夫④、上田正幸、難波嶺二、原忠雄、益永高吉、大久保俊住、河原畑廣、杉村継治、富永晃夫②、馬場淑夫、古莊幹郎、安武紀重、松平和夫、三角恭須子、三角保之、山内清宏②、矢野賢一、湯貴秀郎、田添克衛②、盛谷貴美代、長野治久、森田安泰、森信孝、木下成一②、寺本サキ子、中山隆幸②、野口剛②、村上武重②
昭和35年
園田浩平、龜光秀明、趙健次、宮田誠一(柏市)、緒方正一、水室俊介、河田憲明、内田忠夫、玉川豊康②、福原英喜、岡本定昭②、金崎勝④、丸野義守、菊池文彬、坂井弘元、堤悦朗、興繩義昭、城野照、松田中行②、甲斐博之、淨住護雄、村上勇、隈部宏城、(故)笠幸雄、立川歳純、坂本和義、服部康昭
昭和36年
村井勝利、氏家鏗一、藤田健司、豊後五士、上田常雄、清永徳昭②、村田富子②、平野日出海、小林泰紀、川邊康志
昭和37年
樺木明②、古武康一、城戸克二、内田哲三、坂田祇彦、村山知之、吉本勝利、石方征二、北川駿、竹内秀夫、森敏博、坂信子、藤岡孝輔、豊岡忠臣、西秀継、牧坂憲邦、酒見尚弘、河井浩二、後藤司、中口憲昭、松山捷夫、玉置泰明、辻詔一郎、中島邦介
昭和38年
関健二、内田康雄、齊藤聰、田北成樹、永野健二郎、右田泰弘、山田俊孝、許田重治、甲斐孝太郎、小林基宏、渡辺春海、河島義雄、古閑忠之、佐藤敏一、甲斐義啓、春野博一、松本秀昭、源肇生、坂田俊明、野口敏夫②、柴山武、栗林忠信②、中津浩、園田成彬、山本紘、草野龍二、松岡秀一、水上惟文、永田昭三、永田靖文、中原公彦
昭和39年
坂井進、坂哉隆史、川野一彦、日隈耕右、藤田駿、宮川良雄、坂本唯一②、本田聰生、越智通武、茂村公一、吉野功、日永田義治、前田正輝、荒牧信男、伊藤富夫、柳木博征、馬場彰、福田章、藤田正、川上正人、木下芳則、阿部孝郎、河上橋夫、坂口文雄、北島剛房、高宮實明②、島田俊郎②、成松正一、正清栄二、進朗
昭和40年
岡本重則、坂田憲二、中西正敬、福住耕一、石原純②、相良久次郎、千原政晴、中村勇、東束、山内稔、佐藤淳也、田邊義義、齊藤登、中村寿憲②、本田重寿、大野一也、古閑康彦、櫻井忠明、佐藤啓二、平野正憲、西克明、福岡康、岩本卓也、植村照義、村上一憲、紫藤三千年、田村俊毅、境哲彦
昭和41年
岩本界一、伊東登記男、野口孝、濱本英男、森崎富士夫、有住智博、川上孝雄、草野峰崎、久藤清己②、野野真一、阿部茂、中山峰男②、有馬聰、大嶋和博、溝口康三、寺崎温子、古川裕久②、望月實②
昭和42年
下村勝二②、芦野純夫、伊藤俊俊、浦原隆一②、向坂裕夫、上野倫義、木上隆幸②、吉永誠、沼倉由美子、早田幹雄、森健治、児玉昭男、浦本保典、興繩英二、石洲博人、大嶋健一、菅野幸裕、江口克郎、中川昭夫、山田道夫、湯原満義、三井隆②、柿原久也、吉岡正行、江藤雅昭、矢野登久男
昭和43年
渚々鬘四三会②、每熊敬一、山添直俊、山本哲朗、穴倉武、小田英夫、柏尾俊明、

境晴信、川野康宣、前田和幸、岡島伸平②、本田良一、内藤恒治
昭和44年
諸熊建次、安藤慎一、橋口治、東敏信、赤星慶治、川口雄三、永村一泰、木永博昭、林和紀、上田幸穂、河野達朗
昭和45年
松田講明、片山公則、龍頭保夫、児玉睦雄、市川順一、秋野規寛②、木原和生、井野剛、野田和夫
昭和46年
西山庸二、小堀恭裕、田島朋直、岩尾典久、中尾隆司、津留伴一、本田恵典、布田悟②
昭和47年
久藤了、佐藤謙二、冢入郁博、菊岡清晴、久保田眞理子、島田政博、城下昌己、小島淳、森正晴、米満孝聖、松岡修司、井川隆明②、高田隆夫、佐分利祐二、瀬上信弘、太田恵一朗、中村洋一郎、齊藤寛、名和直子
昭和48年
久木田憲司⑩、白石正治、佐々木浩、椎葉辰也、高橋秀則、高濱頼光、船越和美、曲棍信之、緒方和則、中村滋、増永玲子、松田邦宏、野口孝子、中島智喜、金子篤志、三宅由紀夫、原田道雄、宮本哲也
昭和49年
松藤誠朗、今井政文、俵宏一、原田之治、久木山清貴、迎田恒成、山本利徳、増田龍司、西野宏、鍋岡勇造、相馬一憲、島田淳一、大塚二郎、田中雅英、丸山稔、田端一宏、齊木信吾、篠原守継、川津誠司
昭和50年
石川種②、藤岡昭一郎、本田典利、緒方久喜②、河野景治、杉野茂人、浦上裕正、高島裕司、作村和史、佐藤一郎、内村直子、木原隆司、原田卓、永田邦規、清水裕美、別城秀幸、中村順子、行徳了一③、芥川保志、野田研一
昭和51年
上城弘幸、川口芳弘、塚本富男、長尾信一、巻俊光、鈴木悦子、吉田啓一、杉本聡、吉岡健一②、竹本ひとみ
昭和52年
田中栄一、中島章、大川正晃、城間智子、有働芳弘、上田美江、中村嘉宏、深谷薫、東博文、村松弘美、荒尾淳、西野慎一、楠田節子
昭和53年
平井俊二、郷原友和、福田絹代、松島猛、渡邊祥子、佐藤至邦、安永昌史、秋吉陽一郎、松村恭一、奥村恵一郎、宮本研司、土山哲生
昭和54年
山口明博、中川政嗣、勝木隆昌、松川智一
昭和55年
上原浩志、高橋利郎、永野陸弘、津曲千鶴、川口理一郎、原田洋、平山代助、石田貴士、河野広光、幸山英史、欽田浩二
昭和56年
村上博一、川原昭彦、桐山馨、吉川琢実
昭和57年
前原健②、北野謙司、馬場博史、本田英一郎、平田正治郎③、川野章子
昭和58年
福山龍太郎、岩永一宏、西本寛、西口賢太郎、中津健之、安部浩司、池澤滋、丸山久美子、田中美佐子、本田日出男、西田純一、片桐英夫、藤田博、藤田裕子、松本和也、坂井誠
昭和59年
中村友花理、緒方誠司、末吉健一、清田麻起子、片岡加陽子、峯苦貴明、宮原佳子、渡辺明子、秦賢司
昭和60年
南真佐子、小山英文、山下和幸、飛鷹靖彦
昭和61年
上野功一朗、杉山修、浅井勇介、古里禎章、牧野英典、本田浩一
昭和62年
甲木和世、野津手重徳、河瀬徹、坂井裕美②、野口邦広、石川摩利乃、今村玲、東郷寿郎、羽隔薫
昭和63年
村上邦博、甲斐大童、佐藤和代、福原浩倫、藤本猪野郎、木原稔、本田洋一、馬

場清則、岩本孝子、太路亜紀、春木秀紀、吉田一浩
平成元年
渚々鬘サッカー部元年会、城戸直之、栗原洋美、浅香英夫
平成2年
永村哲宏、牛島将臣、田中裕司、平林武史、田中美保
平成3年
高比良光洋、金光香陽子、郡司祥、松本琢磨
平成4年
佐藤優子、武本英博、椎良樹
平成5年
平成5年会⑩、坂井貴、遠山啓、徳村文、宮田一起、泉礼子、松井秀実、田端あい
平成6年
石原寛之、星山昌岐、染森一樹、松下麻美、池崎晃、上野尚文、濱田綾一郎、松田陽子、甲斐智和、石橋治、鉄石謙太郎
平成7年
小田健正、隈部文麿
平成8年
田中洋平、高木康弘、城後俊輔、城下和彰、大森恵太、千葉敬子、松村龍夫、西博士
平成9年
芳田雅臣、近藤俊輔、他1名
平成10年
齊藤信慶、村山雅則、園田浩貴
平成11年
中西香織、上野景太、津留秀明、洲上博貴
平成13年
松下尚子
平成14年
勝目悠記子、中野秀和
平成15年
月足真輔
平成16年
岩根賢幸、山田真之、藤本仁寿
平成17年
関蒙介
平成18年
柳瀬美耶、緒方雄一郎
平成19年
合志美成子、福岡敬洋、坂田光、上村昂平
平成20年
川本愛結、三浦慶士、秋吉星吾、行徳仁
平成21年
福岡祐輝、緒方健太、石崎香成
平成22年
中村謙吾、松尾祐輔、荒尾佑典、杉本梨奈
平成23年
池部伸一郎、角田真希、古庄祐太、片山智章
平成24年
岡村弘樹、政岡清行、宮本義史、井手博敏、岩本有加、浦本欣央、泉湧一郎
平成25年
中村謙太、福岡弘記、伊藤流石、土山貴弘、井芹友和恵、無田優慶、橋口慎太郎、兒島優里、宮崎星怜
平成26年
北川翔也、城下美紀子、松田吉成、丸野悠我、崎坂美月、外村優、野崎哲生、帆足亮、平下雄盛、入橋真琴、松崎良太、後門幸輝、境友李、古賀優里亜、馬原巧
賛友会
高峯昭俊、原惠晋、大槻英明、山本小夜子、井手直房、緒方忠雄、溝上明子、村上健太郎、鳥井照子、中西勝雄、渡辺蒼、立川和敏、山室文雄、和田勝信、城博昌、小島二郎、田上愛六郎、出口義勝、石井敬也、奥村秀子、園田愛子
地区同窓会
北九州同窓会②
事務局
喜多奈美

○数字は口数、なしは一口
維持会費：一口5,000円
(青年会学年は一口3,000円)

ご寄付をいただいた方々

ご寄付をいただいた方々の一覧は、23ページに掲載しています。